



# 泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 1月9日 始業式当日のこと

校長 西川 敦子

博労校区におきましても至る所で地震による被害を目にし、子供たちを迎えるにあたって、私たち教職員は大変悩みました。「学校は子供にとって安全・安心なところでなくてはならない」。しかし、頻発する余震に私たちの心までもがぐらりと揺らぎ、不安な気持ちをぬぐいさることがなかなかできませんでした。

子供たちは、これからも自然災害をはじめ変化の激しい時代を生きていくこととなります。子供自身が主体的・協働的に考え、行動できる力を身に付けていくことが大切です。まずは、私たち大人がその範を示さなければなりません。

そこで、第3学期最初の一日は、大人も子供も一緒に「真剣に」「本気で」考える一日にしたいと考え、始業式の校長講話の内容を次のように変えました。

\* \* \*

1月1日、午後4時10分。大きな揺れが、私たちを襲いました。能登半島地震が発生しました。そのとき、皆さんは、「命を守る行動」ができましたか。また、揺れが収まった後、家族の皆さんとどのような話をして、どのように過ごしたのでしょうか。思い出してみましょう。博労小学校は、避難所になりました。多くの方が避難してこられました。そのとき、児童の皆さんの中には、大人の人に交じって避難所の準備のお手伝いをしてくれた人もいました。

この地震で、津波も起きました。家や道路の被害もたくさん起きました。大きな火事も起きました。土砂崩れも起きました。停電した地域や、断水といって、水道の水が使えなくなった地域も数多くありました。そして、たくさんの人の命が奪われました。学校自体が被災して、今日、始業式を取りやめた学校もあります。そのことを思うと、こうやって、全校児童の皆さんと無事に会うことができ、学校を開くことができたことに心から感謝します。

まだまだ余震が続いています。いつ、収まるかは誰にも分かりません。今また、大きな地震が起きる可能性もあります。

ですから、今日は、自分の命、友達の命、家族の命を守るためにはどうすればよいのか、みんなで、真剣に、本気で、知恵を出し合い、考えましょう。今日は、「真剣に」、「本気で」考える一日です。博労っ子なら、自分で考え、自分で行動することができると思っています。

\* \* \*

始業式後の学習内容も変更しました。まず、全校集会を行い、登下校中に地震が起こったらどうしたらよいか全校で確認しました。集会後は、各学級で、在校中の地震発生に備え、避難行動や避難経路について話し合ったり、実際に校内を回って確認したりしました。

午後の職員会議では、本校教頭とスクールカウンセラーが講師となり、全教職員で「地震対応の経過について」「子供の心のケアについて」の研修を行いました。今後も「子供の命が最優先」を心に留め、「今、できること」を精一杯考え、教職員が一丸となって取り組んで参ります。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

## ～ 2 学期の学校評価の結果について～

教頭 岩崎 泰明

学校運営や教育活動等を改善し、より充実した学校にしていくために、2学期末に児童アンケート、保護者アンケートを実施しました。これらの評価結果についてお知らせいたします。

児童アンケート「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合(令和5年12月)

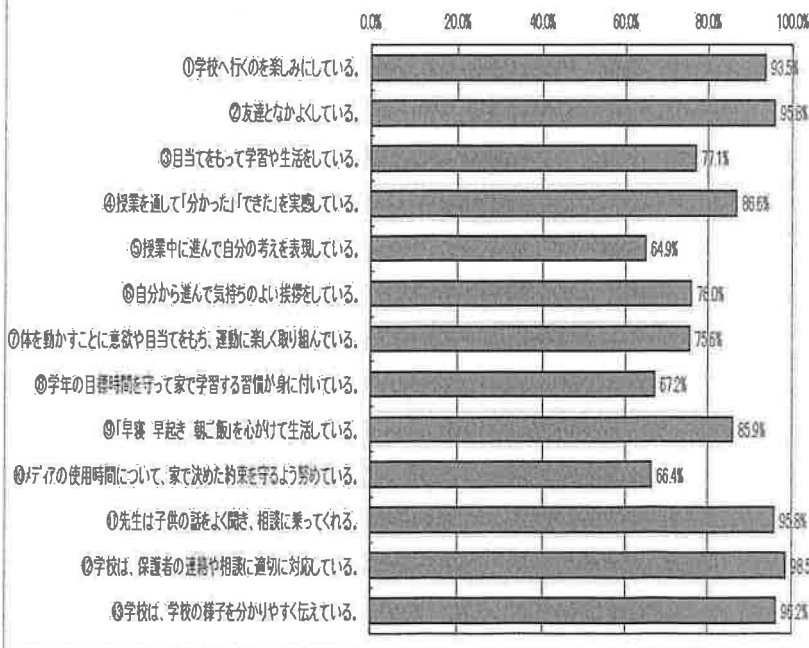


### ★児童アンケートから★

今学期も全体的に8割以上の高評価の項目が多くみられました。特に「①学校は楽しい」「②友達となかよく」等の結果から、児童は有意義な学校生活を送っていることがうかがえます。加えて「④分かった、できた」が1学期より4ポイント以上上昇し、授業の充実感を感じることができたことが分かります。一方でアクションプランとして掲げている「⑤進んで自分の考えを表現する」に関しては1学期より3ポイント減少しています。主体性が発揮できる教育環境を大切に、互いの考えを表現し合えるような授業づくりに引き続き取り組んでまいります。

「⑧学年の目標時間を守って勉強している」や「⑨早寝、早起き、朝ご飯」については1学期より2～3ポイント下回っていることから、時間の使い方についても考える必要があると思われまます。

保護者アンケート「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合(令和5年12月)



### ★保護者アンケートから★

児童と同様に今回も、「①学校は楽しい」「②友達となかよく」で高評価をいただきました。また、学校の児童・保護者への対応等に関する⑪～⑬の項目で、いずれも95%を超える評価をいただきました。この結果に甘んじることなく、保護者の皆様との良好な信頼関係を構築できるよう、引き続き努力していききたいと思います。

一方、これまでと同様に⑤⑧⑩の項目で肯定的評価が低く、特に⑩では児童の評価との乖離が見られます。授業に取り組む姿勢や家庭学習の在り方、メディアとの付き合い方に関して、学校と保護者が情報交換をしながら望ましい生活習慣を確立できるよう努めてまいります。

これからも、児童一人一人の実態を把握し、支援に努めるとともに、博労っ子の頑張りや成長の様子を各種たより、ホームページ等を通して、随時発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。